

とらいあんぐるだより

2024年 5月号

橋本市清水543-1 河南別館2階

電話・FAX 32-1705

(メール) qqhp7zqd@tuba.ocn.ne.jp

(ブログ) <https://hashimoto-triangle.com/>

2024年4月からの「とらいあんぐる」の活動について

2024年度より、橋本市・高野町・九度山町が合同で“ひきこもり支援ステーション事業”をおこなうことになりました。「NPO法人ひきこもり支援サークルとらいあんぐる」と「一般社団法人ソーシャルケアセンター」がその事業の委託先となり、協力しあいながら活動することとなりました。合同の事業名称は「とらいあんぐるカンパニオ」に決まりました。

※カンパニオ (companio) はラテン語で“ともにパンを分け合う仲間”という意味だそうです。

「とらいあんぐる」は今まで通り、火・木・土曜日(14:00~16:00)に居場所を開設し、各種のイベント、相談活動等をおこないます。

「ソーシャルケアセンター」は、月・金曜日(10:00~15:00)に居場所を開設し、月・火・木・金・土曜日に相談活動や訪問支援活動等を実施します。活動場所は、両団体とも橋本市清水の市役所河南別館2階(今まで通りの場所)です。

「とらいあんぐる」と「ソーシャルケアセンター」それぞれの活動と同時に、合同での行事なども計画する予定です。

「とらいあんぐる」は今から18年前の2006年に結成され、悩める青年達の支援を目的とするボランティアサークルとして活動してきました。当初はスタッフ所有の民家を借り、活動資金も自分たちで調達しながらの取り組みでした。2013年にはNPO法人の認定も受け、多くの協力者に支えられながら活動してきました。長年活動する中で、橋本市も活動の意義や重要性についてご理解くださり、施設面・資金面での支援をいただいて現在の場所で活動できるようになりました。

今では県下のほとんどの地域にひきこもり支援の組織ができ、自治体もひきこもり支援事業に取り組むようになりました。「とらいあんぐる」も今年度から橋本市・高野町・九度山町の委託を受けて活動することとなります。より充実した活動になるよう努力していきたいと思えます。

今年度も「とらいあんぐる」の活動を温かく見守っていただき、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

NPO 法人ひきこもり支援サークルとらいあんぐる

理事長 浦本彰夫

「ひきこもり」を市民とともに考える講演会を実施 (2024.2.17)

今回の講演会は、講師として NPO 法人教育相談 おおさか の村上公平氏をお招きして行いました。「適切な対応と援助でどの人も立ち上がる ～社会的ひきこもりからの回復のために～」の演題で講演していただきました。54名の方が参加され、熱心に耳を傾けました。

お話いただいた内容は、

- ① 社会的ひきこもりとは、自分を守るために社会との繋がりを断って、家に「避難」して生活している状態のことである。その発端は「生きづらさ」であり、甘えや怠けではない。
- ② どの人も立ち上がることができるよりどころは、人が生まれながらに持っている「自己回復力」と「自己成長力」である。
- ③ ただ強く自己否定しているため、立ち上がる力を発揮できない。自己肯定感を取り戻すことが大切である。

その援助としては、

- (ア) 本人のいまの状態を「受容」し、「共感的に理解」する。
- (イ) 本人を信頼してすべての生活の仕方を任せる。
- (ウ) 生活に関わる要求が出てくれば最優先で応える。
- (エ) 生活や態度について否定的な態度を取らない。
- (オ) 前向きな行動については褒めるとともに、感謝の言葉を掛ける。

などです。参加された方からは、たくさんの質問や感想が寄せられました。



《参加された方の感想から》

◎子どもと話をすると、つい「進路はどうするのか」という話になってしまいます。とても追いつめてしまっていたと反省しました。「髪を切らない」「何でもめんどくさいと言う」など気になることがたくさんありますが、心配しすぎず、子どもを信じて、「本気で受容してみよう」という気になりました。

◎私の周りにもひきこもりの子どもさんがいます。あきらめない重要性を強く感じました。いろいろ努力もされたはずです。「あきらめないで」と助言できれば、と思います。

◎「指導ではなく、援助することが大切である」子どもが甘えてきたら十分に気の済むまで甘えさせてあげることが大切である。そして子どもの肯定感が育ち、子どもが社会に出て行くということがよく分かりました。

2024年度の居場所（とらいあんぐる） 開所予定

祝日を除く、火・木・土の午後2時～4時。ただし下記の日程はお休みです。

8/13（火）、15（木）、12/31（火）、1/2（木）

※「とらいあんぐるカンパニオ」の予定については、別紙チラシをご覧ください。